

施工方法（粉末タイプ、ペーストタイプ）

塗装壁 （ペンキなど）

施工前に下地に動きがないか確認の上、施工してください。

壁の状態をチェック

剥離もなく、
しっかり密着
している

剥離している
箇所がある

クラックが入っている箇所には、
ファイバーテープを貼って補強してください。

1 シーラー塗布（密着力強化）

水性シーラーを塗布してください。

乾燥

2 下塗り

下塗材〈NGU〉を塗ってください。

乾燥

アクが出ていないかチェック

アクが出た場合は、
再度下塗りをして
アクを止めてください。

3 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。

仕上げ塗りの要領は22ページ参照

ケイカル板、 モルタル、コンクリートなど 水引きの激しい下地

ケイカル板

施工前に下地に動きがないか確認の上、
施工してください。

1 シーラー塗布

水性シーラーを塗布して吸水を抑えてく
ださい。

吸水が激しい場合、水性シーラーは濃さ
を変えて3～4回塗布することもあります。

乾燥

（ビス穴凹み埋め）

ビス穴凹みが深すぎる箇所は、下塗材
〈NGU〉で埋めてください（1mm程度の
ビス穴凹みは埋める必要はありません）。

乾燥

2 ファイバーテープ貼り

ボードの継ぎ目（ジョイント部・入隅・出
隅）および、開口部（窓・ドア）の角にファ
イバーテープを貼って補強してください。
（8ページ参照）

コーナー定木を使う場合は20ページ参照

3 下塗り

下塗材〈NGU〉を塗り、平らな面にして
ください。

乾燥

4 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。

仕上げ塗りの要領は22ページ参照

〈ペーストタイプ〉で仕上げ塗りをする場合は、シーラー乾燥後、下塗りを省いて仕上げる
ことができますが、コンクリートやモルタル下地からアクが出ることもありますので、あ
らかじめご了承ください。

モルタル、コンクリート

1 ファイバーテープ貼り

開口部（窓・ドア）の角にファイバーテ
ープを貼って補強してください。

2 シーラー塗布

水性シーラーを塗布して吸水を抑えてく
ださい。

吸水が激しい場合、水性シーラーは濃さ
を変えて3～4回塗布することもあります。

乾燥

3 下塗り

下塗材〈NGU〉を塗り、平らな面にして
ください。

乾燥

アクが出ていないかチェック

アクが出た場合は、
再度下塗りをして
アクを止めてください。

4 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。

仕上げ塗りの要領は22ページ参照

タイル、各種樹脂ボード

※下地に動きがある軟弱な壁面の場合、クラックが入る恐れがあります。

壁の状態をチェック

汚れが付着している

カビが生えている

樹脂ボード

カビの殺菌

カビが生えている箇所は、消毒用エタノ
ールで殺菌して取り除いてください。

カビが残っていると、仕上げ面に
出てきます。

サンドペーパーがけ

各種樹脂ボード下地（FRPやポリプロピ
レン他）の場合は、サンドペーパー＃80
で表面を荒らしてください。

壁面の清掃

濡れ雑巾などで表面や目地に付着してい
る汚れをきれいに取り除いてください。

1 シーラー塗布

水性シーラーを塗布して吸水を抑えてく
ださい。

吸水が激しい場合、水性シーラーは濃さ
を変えて3～4回塗布することもあります。

乾燥

2 下塗り

下塗材〈NGU〉を塗り、平らな面にして
ください。

乾燥

アクが出ていないかチェック

アクが出た場合は、
再度下塗りをして
アクを止めてください。

3 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。

仕上げ塗りの要領は22ページ参照

浴室に施工する場合



注意

〈エコ・Queen〉は強アルカリ性でカビが生えにくい壁ですが、壁
の湿潤状態が長期間つづいた場合、カビが生えることがあります。
浴室に施工する場合は、石けんカスや皮脂が付着しやすい壁面
下部への施工は避け、また、浴室使用後は換気を十分に行うなど
の配慮が必要となります。なお、施工後、壁が完全に乾燥するまで
浴室の使用を控えてください。